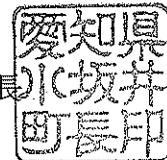




19 小 都 第 40 号
平成 19 年 4 月 20 日

国土交通省道路局長殿

愛知県宝飯郡小坂井町長



中期的な計画の作成にあたっての意見について（回答）

平素は、道路行政をはじめとする国土の均衡ある発展にご高配を賜り厚くお礼を申し上げます。

先般、道路特定財源の見直しに対する論議が高まるなかで、当面の方向性が示されるところであります。私ども地方におきましては、物流や医療面での地域振興・福祉対策などを抱え、道路整備に対する期待は大なるものがあり、道路特定財源の暫定税率を含め、原則堅持を願っているところであります。

さて、ご依頼のありました今後の道路施策や道路の整備・管理に関する意見であります。道路を建設するにはたいへん多額の資金を必要とします。また、道路特定財源の見直しをしても今後とも道路特定財源は道路整備の源泉であり、国民の理解が得られる道路づくりがなされなければなりません。高速道路を延長するのでは国民の理解は得られず、また、地域エゴで造られるべきものではあってはなりません。

これからの道路政策として7つのポイントで取り組まれることは大変心強く、国の道路政策に対する理解を得るためには、国民へ次のようなアピールが必要かと思料するものであります。

1 道路整備の必要性の検証

道路整備するうえで、背景、重要度、費用対効果、経済性、緊急性、施工期間、難易度等を独立した審議会等により評価、数値化し、整備順位のランク付けする。例えば、公表はメディアを通じ国民に分かりやすく説明する。

2 身近に感じる道路整備への期待

- ① 大都市圏の道路は整備されているが、地方の一般国道等の道路における渋滞は日常茶飯事でその影響は時間的・経済的ロス、不快、交通事故、環境汚染等数々のマイナスが発生している。新たな道路の整備も必要であるが既設道路の整備として主要交差点の立体化、右左折の専用レーンの設置が望まれる。
- ② 一日交通圏の拡大
高速道路体系を中心とするのもよいが、一般国道による移動を対象に道路整備を行い、一日交通圏の拡大による経済、観光などの発展への期待
- ③ 走って楽しい道路
わが町にもこんなに景観のよい道路があったと感じ、初めて来た道だがも

う一度通って見たいと思わせるような道路など魅力ある道路づくりを推進する。

3 高齢者、子ども、環境等に配慮した道路整備の推進

道路整備は、渋滞の解消、物流の高速化等の問題を解決するため、高規格道路網の整備が進められてきた。しかしながら、自動車の流れを優先するあまり高齢者や障害者などに対する配慮した整備がされてないことから痛ましい交通事故の犠牲者となるケースがある。特に地方の道路には歩道が整備されない道路が数多く存在することから、これらの解消対策を望むものである。また、自動車の排気ガスによる環境問題、騒音問題の解消も重要な課題であり、緩衝緑地帯を設けた道路の整備が望まれる。

4 地方道路の整備の推進

愛知県内では尾張、西三河地域を中心として国道等の高速道路体系の整備が進んでいますが、東三河地域は整備が遅れており、三遠南信自動車道、東三河縦貫道路の整備、豊橋港を核とした物流を始めとして地域産業経済基盤の強化を進めるためには三河港臨海部産業拠点および埠頭地域との相互連携機能を果たす産業道路網の整備、三河港と国土幹線道路、地域幹線道路との連携機能強化、三河港周辺地域から浜名道路を介して中部国際空港、伊勢湾口道路を介しての大阪地域への道路網の整備により東三河地域の発展に大きく寄与するものであり早期整備が望まれる。また、県道、市町村道は未だ未整備で朝夕の通勤時間には渋滞が発生し住民からの整備要望が強いが、本町には鉄道3路線（JR東海道本線・名鉄名古屋本線、JR飯田線）が町内を縦横断しており事業費の面において道路拡幅のネックとなっており、交通安全対策を含め、国の支援による整備が必要となっており地方道の整備に財源投資を強く望むものである。

5 地方の実情にあった道路の整備

ある地方では自動車交通量は少なく、利用形態はトラクターなどの農業用としての道路利用にもかかわらず立派な道路が整備されている。また、道路が整備されたが利用が殆んどないなどと批判されないように、全国一律に都市部・農村部を区別せずに国の基準による道路整備ではなく、利用形態、交通量などを総合的にとらえて地方の実情にあった道路整備が出来るような制度に改める必要あるのではない。